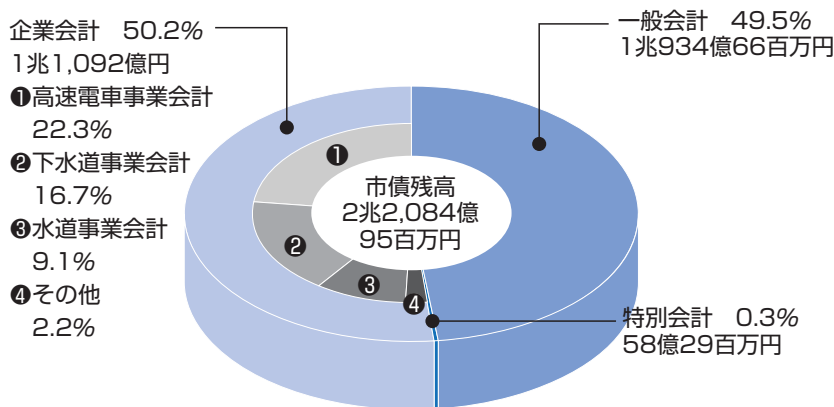
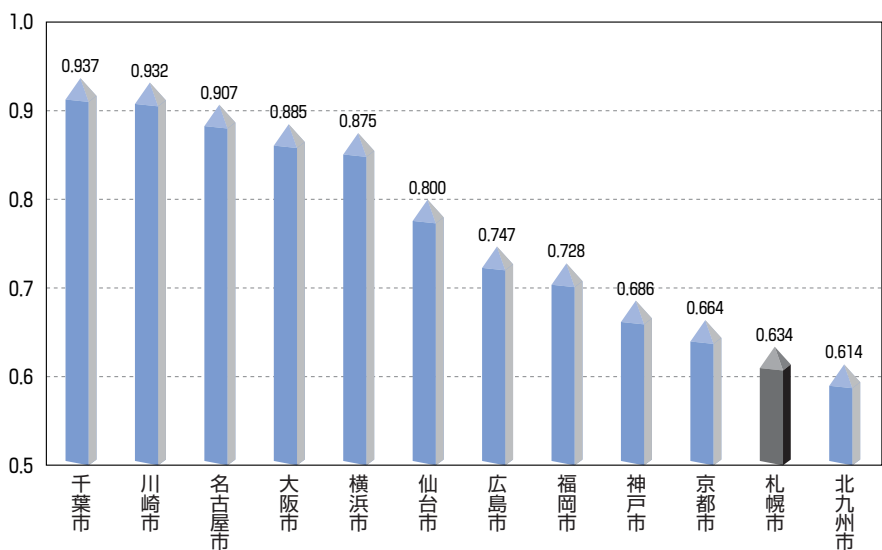
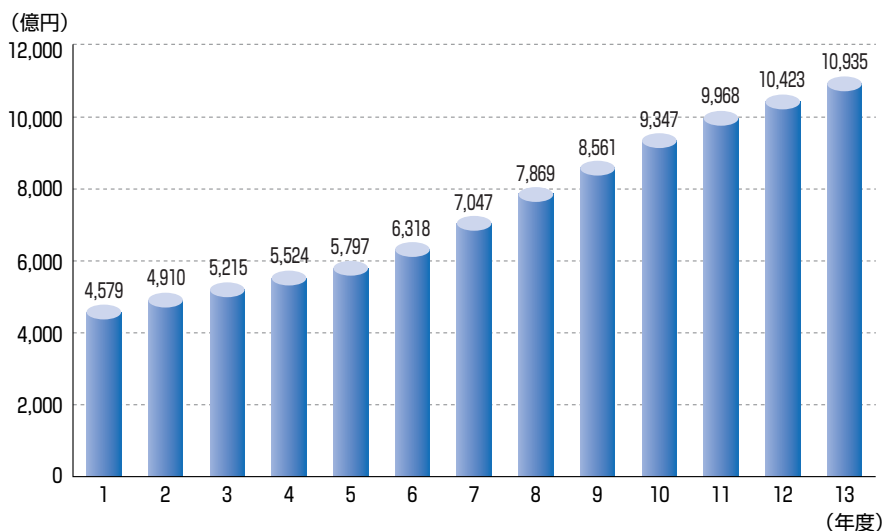


■図3 市債残高の状況



■図4 一般会計市債残高の推移



【財政力指数】標準的な行政を行うために、地方公共団体自らが賄える財源の割合を表したものの。

平成十三年度は、臨時財政対策債を新たに発行したことなどから、前年度比9.2%増の八百五十五億円となりました。しかし、その分を除くと3.4%減の七百五十五億円になりました。

市債残高は、近年の経済対策や減税補てん債の発行など

により大幅な伸びを続けていました。このため、行財政改革推進計画に基づき市債発行額の抑制に努めています。

平成十三年度末の一般会計の市債残高は一兆九百三十五億円（満期一括償還準備積立金を除くと一兆三百四十四億円）となり、前年度比4.9%の増となりました。（図3、4）

用語解説

〈臨時財政対策債〉
地方交付税の財源となる国税（所得税、法人税など）が伸び悩んでいることから、それを補てんするために各自治体が発行する地方債。償還財源については、将来、交付税措置される。

〈満期一括償還準備積立金〉
満期時に発生する多額の償還（返済）に備え、計画的に減債基金に積み立てたお金。

特徴

1 市税など自ら賄える財源の割合が低く、財政基盤が弱いといえます。

財政指標で見る札幌市の財政の特徴

■図5 財政力指数

この指数が小さいほど、財政基盤が弱いといえます。本市は政令指定都市の中で低い方から二番目です。